

毛越寺 遣水 曲水の宴

この遣水は、この池に水を引き入れるためのものです。12 世紀に設計された遣水のなかでは、当時の姿のまま残存する唯一のものです。遣水は、海に水を注ぐ川を模して造られています。

毎年 5 月の第 4 日曜日には、この遣水のほとりで、伝統的な詩の祭である「曲水の宴」が行われます。参加者は平安時代の衣装、男子絵は衣冠狩衣、女性は十二単を着るのが通例です。

酒が入った盃を木の小舟に乗せて川に流し、自分の前に酒の盃が到着する前に、参加者は特定のテーマについての句を詠み終えるというものです。

これは、貴族たちが行なったという伝統的な詩の宴で、平泉を統治した藤原 3 代秀衡（1122–1187 年）の栄華を偲んで行われます。